

異なる視点記事に違い

芦原中で 公開授業 衆院選を題材、理解

NIE(教育に新聞を)実践指定校のあわらし市芦原中で27日、社会の公開授業が行われた。3年生19人は、同じニュースでも捉え方によって記事の内容が変わることを、見出しを付けながら学んだ。

「マスメディアと世論」



をテーマに熊木啓太講師(木講師は、同じニュース(25)が授業を行った。熊)でも記事の書き方の違い

自分たちで付けた見出しを三つの型に分ける生徒=27日、あわらし市芦原中

で肯定型、中立型、否定型に区分できることを説明。生徒は実際に衆院選に関する記事を読み、三つの型に分かれて見出しを考えた。

「まさかの選挙」「未来を切り開く選挙」「自民・希望一騎打ちか」「首相なぜ解散させたのか」などと付けた見出しを型ごとに分類し、ニュースの捉え方の違いを実感した。

熊木講師は「情報をうのみにせず批判的に見て、記事を読み取る力を身に付けてほしい」と伝えた。安岡涼さん(15)は「情報を受け取るだけでなく、自分の考えを持つようにしようと思う」と話していた。(山崎彩)